

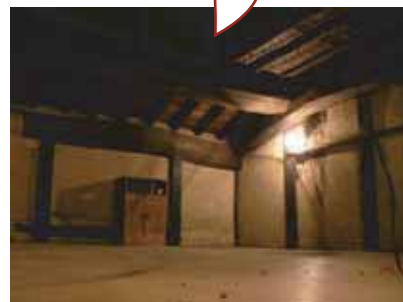
# 兒山家住宅・ナヤ・ミュージアム

ちょっぴり魅力紹介

建物の中は、魅力空間がいっぱい



104・5mの土塀に囲まれた敷地700坪の邸宅。  
敷地内には、江戸時代の建築物が立ち並ぶ。



～作って楽しい「ナヤ・ミュージアム」～

陶器北にある兒山邸の当主・兒山万珠代さんに手づくり博物館「ナヤ・ミュージアム」の取り組みについて、お伺いしました。

兒山家は、家伝では中世に遡る旧家で、江戸時代には大庄屋として小出藩代官も務めました。この建物は、江戸時代後期に本家より分家し、「東兒山」と呼ばれている住宅で築200年程になります。桃山時代の床の間があった本家は、平成13年に取り壊されました。平成14年、国の登録有形

文化財になり、住まいながら、保存とともに地域のために活かす道を模索している頃、近所の女性から、景観保全のために私たちに手伝えることはないかと声をかけてもらったのが、活動の始まりです。2年前から本格的に、市民が作り手になるミュージアムづくりに取り組んでいます。月2回資料整理や掃除、月末の土日は土壁塗りワークショップ、年に数回、公開講座も開催。さらに、地元の高校生が授業やボランティア活動で参加するようになり、その輪は広がっています。



展示物いろいろ



ナヤ・ミュージアムには当時の生活がしのばれる生活用具がたくさん展示されています。



ナヤ・ミュージアムは、「つくって楽しいミュージアム」です。  
あなたも、ミュージアムづくりに参加しませんか？